



家族で



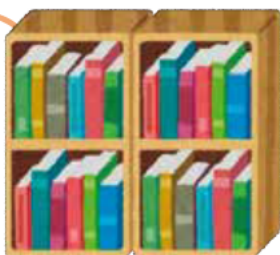
# 本との出会いを 楽しんでみませんか？

子どもが本に親しむ原点は「楽しさ」です。「楽しさ」を繰り返し味わうことは、子どもが本を好きになるきっかけのひとつです。

子どもと本との出会いを広げるために大人ができること、いろいろとありますよ！

## 家庭文庫を作ろう

子どもに読んでもらいたい本、家族それぞれの思い出の本など、いつでもみんなが触れることができます。家族で同じ本を読むきっかけにもなりますね！



## 図書館・本屋さんに行こうデーをつくろう

家族で出かけた時に図書館や本屋さん立ち寄りましょう。みんなで読みたくなる本に出会える機会です。



## 家族みんなで 同じ本を読んでみよう

同じ本を読んで、感想を語り合ってみることも楽しいですよ。子どもが学校から借りてきた本や絵本などがおすすめです。



## 我が家の読書 記録を残そう

我が家の「読書ノート」を作って、簡単に感想を書きあったり、読んだ本のタイトルを記録してはどうでしょうか？ 家族のコミュニケーションにもなりますね。



## 読書すると、どんなイイことがあるの？

子どもは、読書を通じて、新しい世界を知り、感動し、自分なりの考えを持つことができるようになっていっています。読書によってこんなことが期待できます。

- ◎感性が磨かれます
- ◎判断力や表現力を伸ばします
- ◎コミュニケーション能力の基礎を築きます

そして、子どもたちは学ぶ楽しさや知る喜びを感じるでしょう！



## 本と出会うために、 まずは図書館に行ってみよう！

子どもにとってどんな本が良いのか、興味を持ちそうな本をどのように選べば良いか、本の選び方がわからない場合、図書館に行って、司書に聞いてみましょう。

きっと良いアドバイスが得られ、年齢に応じた素敵な本を紹介してくれますよ。

また、毎年4月23日は「**子ども読書の日**」です。この時期に子ども向けの読書行事が開催される図書館もあります。

ぜひ、家族で図書館に行ってみましょう！



### 読書イベントにも 行ってみよう！

図書館や本屋さんなどのいろいろなところで、読書イベントが行われています。

一度、参加してみませんか。

## 家庭の工夫を 紹介します

- ◎子どもの身近な場所に本や新聞を置いておいたところ、自分から進んで読むようになりました。
- ◎親の自分が普段から本を読む姿を見て、子どもも自然に本を読むようになりました。
- ◎家族で同じ本を読んで感想を言うことで家族のコミュニケーションになっています。
- ◎子どもたちに読み聞かせをしてあげるうちに、兄姉が弟妹に絵本を読んであげるようになりました。
- ◎ノーテレビ・ノーゲームデーの日は家族で児童書を読んでいます。

平成29年3月発行  
三重県教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課  
〒514-8570 三重県津市広明町13番地  
TEL:059-224-3322 FAX:059-224-3023

みえの学力向上県民運動

学校・家庭・地域の  
教育力を高めよう！

